

設 立 趣 旨 書

当団体は、個人的に保護犬ボランティアを続けていた設立代表者が、2019年3月に任意団体として立ち上げました。主に保健所で殺処分期限をつけられた犬を保護し、心身のケアや家庭犬になるトレーニングをしてから、里親家族に譲渡する活動をしています。

全国的には、今も適切に飼育されず劣悪な状況におかれた犬や、野犬や放浪犬として捕獲収容される犬が後を絶ちません。人口規模の小さい地方だけで里親探しをすることは容易ではないため、私達は都市部に動物を移動させ、より多くの市民にこの現状を訴え、動物を家族に迎える際は保護動物に目を向けて検討するという選択肢を提案しています。

私達は、人間の言葉を発しない動物の生命と人間の生命の重さに、違いなど無いと考えています。保護された動物も喜怒哀楽の感情をもち、人間や仲間と深く愛情を交わし合える心豊かな存在だと日々感じています。でも彼らは暮らす環境を自分で選ぶことはできず、人間の影響を大きく受けています。私達はそんな保護犬の殺処分数を一つでも減らし、生命の残りの時間を幸せにあふれたものにして欲しい、そしていつかこういう活動が必要なくなる社会にしたいと願っています。

動物の生命がただの「物」のように軽く扱われ、人間の利益のために乱暴に利用される社会、不要になれば簡単に捨てたり殺したり苦しめたりするような人間を許してしまう社会は、人との関係でも他の生命や権利を尊重し大切に扱うという文化的レベルに達しない、改善する余地がある社会だと考えています。そして私達のような保護団体が里親探しをしたり、市民に向けた啓発活動に取り組んだりすることは、動物と人間がよい関係で共生できる心豊かなまちづくりにつながると考えます。

私達は、身近なところで動物の生命が処分されているという現実、また生命が売り物として流通している背景を市民に伝えています。知らないということは望まない仕組みに無意識に加担する可能性があり、知った上で行動できる環境を整えることは、市民にメリットがあります。

里親を選ぶ際には、単なる憐みの感情や、一時的な見た目の可愛らしさに目を奪われ申し出るのではなく、生命のバトンリレーのアンカーとして責任をもち続けられるご家族を見極めるよう心掛けています。簡単に犬を手渡さない分ご縁つなぎの期間は長くなり、安定した活動にはしっかりと体制と資金調達の仕組みが必要です。

当団体は動物の生命を大切に思う市民に対して、保護活動に協力参加する方法を提示でき、動物とのよい関係づくりに関する情報を伝え、一緒に学び考える機会を提供することができます。また地域のつながりを強めるイベントにも協力しています。災害時などに動物と一緒に避難する方法や発災前の備えについても、今後さらに情報提供していきたいと考えています。

当団体は、営利を目的とせず社会課題の解決を目的とした活動を実施するものであり、これまでの活動を一層推進するため、任意団体を特定非営利活動法人とすることで社会的信用の向上を図り、行政との連携をとりながら積極的に情報公開に努め、安定的に組織を運営することが必要と考え、設立に至りました。

2023年3月1日 特定非営利活動法人 湘南ワンレーベンの設立を構想

2025年4月1日 発起人会開催

2026年 2月 1日	法人の名称	特定非営利活動法人 湘南ワンレーベン
	設立代表者	古知屋 友里